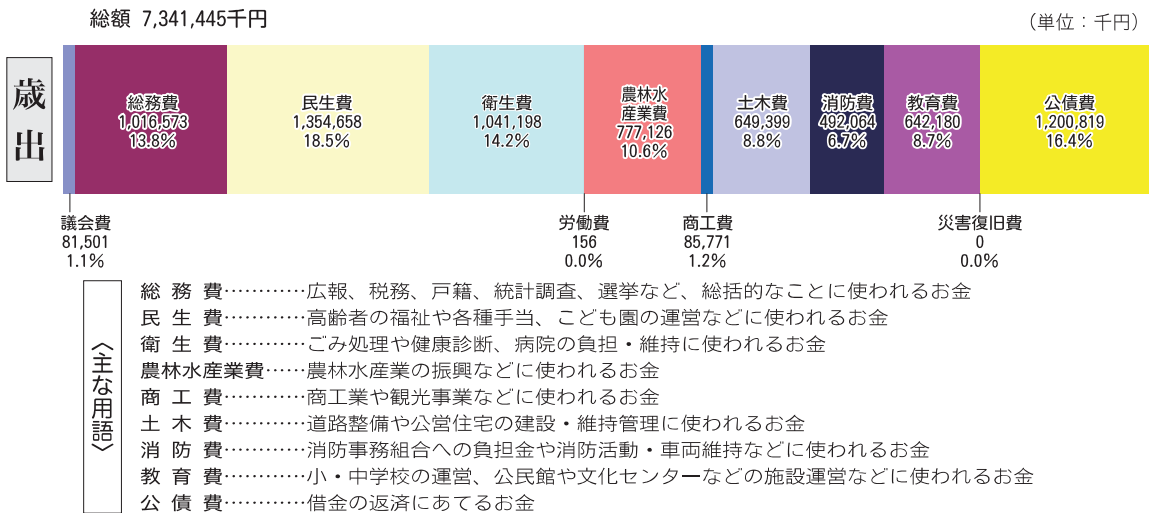
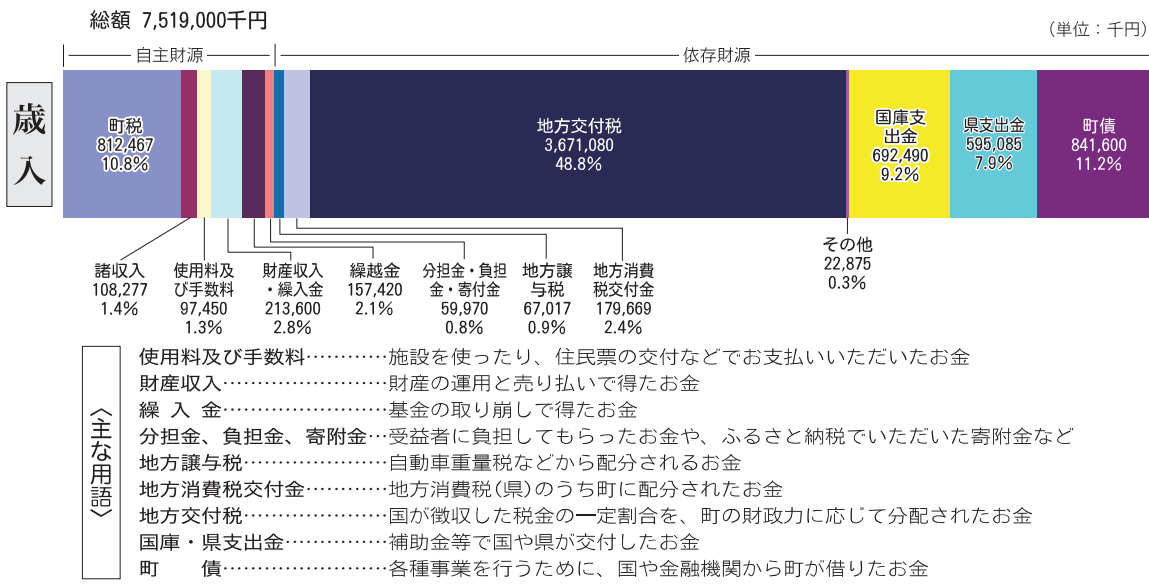


1 一般会計の概要

福祉や教育など、さまざまな場面で使われる一般会計。町の台所は、左で紹介している「特別会計」以外は、すべて一般会計で処理しています。



※四捨五入しているため一部合計が合わない場合があります

入ったお金、払ったお金の内訳を紹介します

2 財政健全化判断比率

この数値が基準を上回ると、財政運営が厳しいとして国に指定されます。町は、いずれの基準も下回りました。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成30年度	—	—	9.3%	92.6%
令和元年度	—	—	10.5%	88.8%
早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%	

〈各指標の解説〉

- 実質赤字比率……広い目的に使われる「一般会計」の赤字額が、地方税や地方交付税等の財源規模(標準財政規模)と比べてどのくらいあるかを指標化したものです。
- 連結実質赤字比率……「一般会計」だけではなく、特別会計も含めた全会計を合算し、町全体としての赤字額を指標化したものです。一般会社などで行われている「連結決算」と同じ意味合いを持ちます。
- 実質公債費比率……借入金の返済やこれに準ずるものが、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数字が大きいくほど、借入金返済に追われ、資金繰りが苦しいということになります。
- 将来負担比率……借入金の返済や将来負担することになるものの残高を、標準財政規模に対してどのくらいあるかを指標化したものです。この数値が大きくと、現在の負担はそれほどでなくても、将来必要になる負担が大きいくということになります。

こんな事業を実施しました

ごみ収集車購入事業

29,733千円

平成21年度に購入したごみ収集車2台分の更新費用です

3 各会計別の概要

一般会計のほか、町には特定の事業を行う目的で設置される特別会計があります。

(単位：円)

	収入	支出	差引額
一般会計	7,518,999,651	7,341,444,761	177,554,890
国民健康保険(事業勘定)	1,720,954,861	1,603,855,641	117,099,220
国民健康保険(診療施設勘定)	139,911,484	139,910,437	1,047
介護保険事業	1,757,248,178	1,741,385,124	15,863,054
後期高齢者医療事業	268,131,066	264,612,285	3,518,781
農業集落排水事業	39,663,191	39,187,810	475,381
漁業集落排水事業	26,211,365	25,895,222	316,143
水道事業(収益的)	363,305,166	312,275,270	51,029,896
合計	11,834,424,962	11,468,566,550	365,858,412

こんな事業を実施しました

宮越家離れ(ステンドグラス)・庭園保存整備活用事業

7,908千円



大正から昭和時代初期に活躍したステンドグラス作家の小川三知が残したステンドグラスがある離れと庭園の保存活用計画策定や整備、フォーラムの開催をしました。

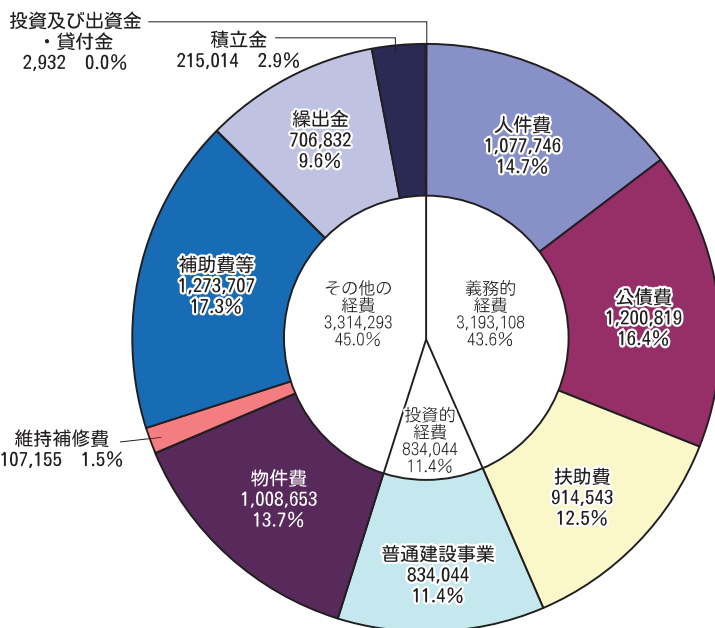


4 そのほか

●一般会計の性質別歳出

使ったお金の性質によって分けた表です。

(単位：千円)



●借金(公債費)残高

(単位：千円)

	平成30年度末	令和元年度末	比較増減
一般会計	12,240,533	11,945,663	▲ 294,870
国民健康保険	166,883	152,322	▲ 14,561
介護保険事業	0	0	0
農業集落排水事業	183,985	160,759	▲ 23,226
漁業集落排水事業	138,233	123,138	▲ 15,095
水道事業(企業債)	1,911,031	1,728,949	▲ 182,082
合計	14,640,665	14,110,831	▲ 529,834

令和元年度

決算特集